

輸出事業計画

※申請者名：大分県農業協同組合、品目：かんきつ

1. 輸出における現状と課題

当組合の産地では担い手不足による栽培面積の減少等が進んでおり、生産振興や新たな担い手の確保・育成が求められている。これらを実現するためには、安定した価格での取引や販路拡大に取り組む必要があり、その一環で輸出拡大に向けた取組を始めている。

こうした中で、近年では、香港の中秋節需要を狙い、国内の盆需要後に価格が低下するハウスみかんを売り込んだり、柑橘類の生産が困難なロシアに向けた輸出に取り組むなど戦略的な販売も行っている。

2. 輸出事業計画の取組内容

【生産面】

- 台湾の残留農薬基準を満たす防除暦の作成に向けて、国内先進地を生産者等と視察した上で、慣行栽培との相違点や取組の難易度等を明らかにして、導入可能な品種等を検討する。

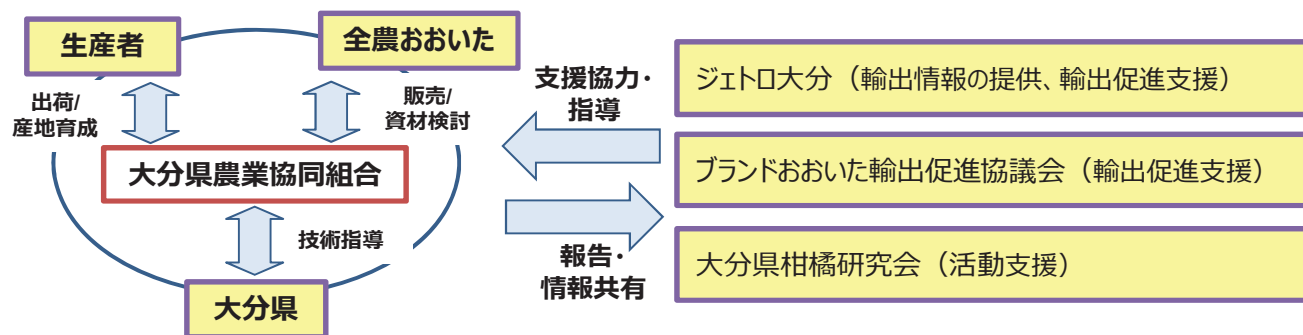
【流通面】

- 中晩柑類（露地デコポン）は、通常年内に収穫し、減酸のための貯蔵期間（12～2月）を経て出荷しているが当該貯蔵期間中に鮮度保持資材を活用して長期船便輸送が可能であるかテスト輸送を行う。

【販売面】

- 既存取引品目に加え、本県オリジナル品種であるサンセレブや美娘（みこ）など差別化できる中晩柑等を提案し輸出期間の長期化、取引量の拡大を図る。
- 中秋節や春節の贈答用に、赤色や金色など現地ニーズに合った化粧箱等の開発を行う。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	現状（令和2年度）	目標（令和6年度）
輸出額（千円）	17,932	50,000
輸出量（t）	23	65
輸出先国	香港・台湾・シンガポール	香港・台湾・ロシア・カナダ